

お客様各位

外務省より、下記の通りエーヤワディー管区を除く全土に「十分に注意して下さい」（継続）が発せられました（以前の危険度1注意喚起）が、弊社主催の各ツアーに関しまして、予定通りご出発頂けます。尚、お手配旅行・自由行動（旅行）中は十分ご注意ください。

【主催企画】

(株)ピーエス観光  
(国土交通大臣登録旅行業第347号)  
〒150-0004 東京都港区新橋3-2-7  
 恭和ビル4F  
TEL: 03-3502-4022

【お申込み】

(株)エアークリスタル  
(東京都知事登録旅行業代3-5400号)  
〒160-0018 東京都新宿区須賀町1番地  
 サントピア四谷1F  
TEL: 03-5368-0951

ミャンマーに対する渡航情報（危険情報）の発出（2008/05/19）

1. エーヤワディー管区を除く全土：「十分に注意してください。」（継続）
- (イ) ミャンマーでは、2008年5月2日深夜から3日午前にかけて、ミャンマーに大型サイクロンが上陸し、南部地域に甚大な被害が生じました。特に大きな被害を受けたのはミャンマー南部のエーヤワディー管区ですが、ヤンゴン管区においても600人以上が死亡するなど深刻な被害が出ています。同時にサイクロン被害による燃料や生活必需品の供給不足による物価の値上がりが見られたほか、サイクロンによる甚大な被害が出ている中にもかかわらず、10日、国民投票が敢行された（注：ヤンゴン管区及びエーヤワディー管区の一部地域を除く。）結果、政府に対する不満から、ミャンマー政府当局と民主化勢力との対立が更に深まる恐れがあり、今後不測の事態が発生する可能性も排除できません。
- (ロ) 2007年8月15日にガソリン等燃料価格の大幅値上げが実施されて以降、同国最大の都市ヤンゴン市ほか国内各地で僧侶を中心とした大規模なデモが頻発しました。ヤンゴン市では、一般民衆もデモに参加するなど、最大で数万人に上るデモ行進が発生しました。同年9月26日、ヤンゴン市内のシュエダゴン・パゴダ付近で、パゴダに入場しようとしたデモ参加者を治安当局が警棒で殴打し、催涙弾を発砲する事件が発生しました。また、同市内のスレー・パゴダも治安当局により閉鎖され、付近で発砲が行われました。さらに、同27日には、ヤンゴン市内でデモを取材中の日本人ジャーナリストが銃弾を受け、死亡する事件が発生しています。現在では、治安当局の厳しい取締りによってデモは鎮圧され、大規模なデモは発生していません。しかし、上記(イ)の様にサイクロンによる甚大な被害を契機とする物価の高騰等様々な要因によりデモ等が発生する可能性は排除できませんので、引き続き警戒は必要です。
- (ハ) ヤンゴン市内等における最近の爆弾爆発事件の発生状況については、以下のとおりです。
- 2006年4月、ヤンゴン市内のミャンマー郵電公社（MPT）前等合計6か所で小規模な爆発が発生し、建物の窓等にわずかな損傷が生じました（死傷者なし）。
- 2007年1月、ヤンゴン市内バハン地区のユザナ・タワー1階にある郵便局で警察宛の郵便物に入った小型爆弾が爆発し、1人が負傷しました。
- 2008年1月11日、首都ネーピードー市のピンマナ駅付近にある駅職員集合住宅内の公衆トイレで爆弾が爆発し女性1人が死亡しました。また、同日、バゴー管区ピュー市ニャウンピンター村競技場において、何者かがサーカス会場付近で爆弾を仕掛けていたところ、爆弾が爆発し仕掛けていた本人が死亡、付近にいた女性3人及び子供1人の計4人が負傷しました。さらに同月13日、ヤンゴン市のヤンゴン中央駅場外チケット売り場付近にある公衆トイレと同駅の垣根の間で爆弾が爆発し女性1人が負傷し、16日にはバゴー管区ピンボンジー村のマンダレー・ヤンゴン間幹線道路沿いのレストランで乗客が朝食をとるために停留していたバスの後部で爆弾が爆発し、車掌1人が死亡しました。
- 最近では、2008年4月20日夜、ヤンゴン市内のダウンタウンに位置する2か所（1か所はトレーダーズ・ホテル付近）にて、車輛の下に設置された爆弾が約1時間の時差をおいて爆発しました。この爆弾事件については、死傷者は出ていない模様です。
- ミャンマー政府は、上記の爆弾事件の中で多くの事件に関して、反政府武装勢力の犯行によるものとしていますが、事件の背景・詳細等については不明です。
- 2008年1月中に発生した爆弾事件はいずれも外国人が多く利用する場所で発生しているわけではありません。しかし、同年4月20日に発生した爆弾事件は外国人が多く利用するホテルの付近で発生していることから、外国人が巻き込まれるような不測の事態が発生する可能性を常に考慮しておくことが必要であり、治安情勢には引き続き十分に注意していくことが大切です。

(二) また、バゴー管区バゴー市とタウンゲー市間(両市内を含む。)の幹線道路付近及びその東部周辺地域については、報道等によれば、2006年1月、バゴー管区バゴー市の高校及び銀行付近、同管区タウンゲー市の駅において小規模な爆発事件が発生(いずれも死傷者なし)したほか、同管区ピュー市の市場においても不審な小包が発見される事件が発生しています。同管区バゴー市とタウンゲー市間の幹線道路付近及びその東部周辺地域の大型変圧器付近、森林、農園、道路等において、爆弾爆発事件及び地雷爆発事件が2006年に13件(死者計3人、負傷者計14人)2007年に70件(死者計9人、負傷者計75人)発生しており、また、2008年に入り4月までに13件(死者計1人、負傷者計15人)発生しています。

上記の爆発事件の傾向としては、地雷による小規模なものが多く、また、大型変圧器付近や森林、農園等、一般的に外国人が立ち寄り可能性の低い地域で主に発生しています。このような地域には不必要に立ち入らないよう注意が必要です。

このほか、駅や市場等、一般市民が巻き込まれる可能性の高い場所においても少数ながら犯行が行われており、今後も同様の事件が発生する可能性は排除できません。

(ホ) さらに、タイとの国境付近(シャン、カヤー、カレン、モン各州の一部)では、カレン州及びモン州のタイとの国境付近で反政府少数民族武装勢力「カレン民族同盟(KNU)」と国軍との間で、また、カヤー州のタイとの国境付近では反政府少数民族武装勢力「カレンニー民族開発党(KNPP)」と国軍との間で戦闘が散発しています。また、シャン州南部のタイとの国境付近では、反政府少数民族武装勢力「シャン州軍南(SSASouth)」とミャンマー政府との間で和平協定を結んだ少数民族武装組織「統一州軍(UWSA)」やミャンマー国軍との間で小規模な戦闘が時々発生しています。

2006年2月、カレン州東部ミャワディにおいて小規模な爆発事件が発生し(死傷者なし)同年3月には、カヤー州ロイコー市ゼーパイン地区の市場において不審物が発見される事件が発生しました。同年12月には、地雷爆発事件がシャン州マインピャツ地区及びチャインラツ地区にて2件、カレン州タウンダウンジー地区で1件発生し、計7人が死亡、5人が負傷しました。また、2007年10月には、カレン州ミャワディの旅館にて爆弾が爆発し、宿泊客1人が負傷する事件が発生しました。このほか、ミャワディにおいては、地雷爆発事件が2007年1月から11月にかけて計6件発生し、計7人が負傷しました。さらに、2007年6月には、カレン州東部ミャワディ付近及びカヤー州ポーラケー地区にて、テロリストが爆弾及び銃を用いてバスを襲撃する事件が2日連続で発生し、乗客合計27人が死亡、11人が負傷しました。同年9月には、カレン州フラインボエでダム建設事業にかかわっていたタイ人らがKNUとみられる武装グループにより重火器で襲撃され、タイ人1人が死亡しました。

最近では、2008年4月13日、シャン州南部のレーチャー地区においてミャンマーの新年の祭りでにぎわっていた群衆に向けてテロリスト1人が手榴弾を投げ入れ爆発させ、地元住民5人が負傷する事件が発生しました。

ミャンマー政府はシャン州軍南のメンバーの犯行と断定しています。

今後もタイとの国境付近では、こうしたミャンマー国軍と反政府武装勢力との間の衝突及び反政府武装勢力によるとみられるテロ・爆発事件等の発生が懸念され、治安情勢は依然として不安定な状況にあります。

つきましては、エーヤワディー管区を除くミャンマー全土に渡航・滞在される方は、在ミャンマー日本国大使館、現地関係機関、報道等から最新の治安関連情報の入手に努めるとともに、過去に爆弾事件が発生した場所や映画館、市場、競技場等、人が多く集まる場所では周囲の状況に注意を払うなど、安全確保に十分注意を払うようにしてください。また、デモや群集には近づかず、夜間の外出は控え、常に団体で行動するなど、安全確保に努めてください。

(問い合わせ先)

外務省領事局海外邦人安全課(テロ・誘拐に関する問い合わせを除く)

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(外務省代表)03-3580-3311(内線)5140

外務省領事局邦人テロ対策室(テロ・誘拐に関する問い合わせ)

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311(内線)3679

外務省海外安全相談センター

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話:(代表)03-3580-3311(内線)2901

外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

携帯電話用: <http://www.anzen.mofa.go.jp/i/>

在ミャンマー日本国大使館

住所: No.100, Natmouk Road., Bahan Township, Yangon, The Union of Myanmar

電話: (95-1) 549644~8

FAX: (95-1) 549643